

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

軽井沢町

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備事業
事業費 1,100,000円 (うち支援金: 927,000円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

住宅地の周辺を囲む民間の森林(別荘地)は適切な管理がされていない箇所があり、藪の深い場所では野生動物が潜み易い環境となっている。

(2) 本事業の目的

野生動物の被害防止のため緩衝帯整備として森林整備を行う。見通しの良い環境を整備することで、住居エリアへの侵入を防ぎ、野生動物の潜み易い場所を解消することが出来る。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 軽井沢町内(上発地区)

(2) 対象者 軽井沢住民(上発地区)

(3) 実施方法 草刈り機使用(藪刈り、刈り倒し)面積 11,000㎡
道路より奥行10m以内の範囲

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成30年～令和4年度)

平成30年度(大日向地区) 11,500㎡

令和元年度(古宿地区) 11,000㎡

令和2年度(千ヶ滝中区、離山区) 11,000㎡

令和3年度(上発地区) 11,000㎡

令和4年度(塩沢区) 13,000㎡

②令和3年度実績 軽井沢町内(上発地区) 11,000㎡



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

緩衝帯整備事業の刈り払いを実施することで住居エリアへの侵入を防ぎ、野生動物の潜み易い場所を解消することが出来る。

(2) 継続性

住宅エリアへの野生動物の侵入を予防するため、今後も計画的に進めていく。

(3) 普及性

藪刈り実施の承諾を所有者から得ることにより、藪を放置すると野生動物が潜む可能性があることを啓発出来る。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

民有地の藪刈りを実施することで見通しが良くなり、野生動物の潜み易い場所を解消することが出来た。

(2) 課題

所有者から藪刈りの承諾を受けられない場合、又実施箇所で刈り取れない植栽があると一部で見通しが良くならない事が生じる。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

住居エリアへ野生動物の侵入を防ぐため、対象となる地区について藪刈りを計画的に実施していく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)